

2020 年 4 月 3 日付 韓国環境部プレスリリース

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生イノシシ 481-483 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1363165&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は 4 月 2 日江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）看東面（カンドンミョン）、京畿道（キョンギド）坡州市（パジュシ）津東面（チンドンミョン）で発見されたイノシシ死体 3 個体で ASF ウイルスが検出されたと 4 月 3 日明らかにした。

□国立環境科学院は 4 月 3 日イノシシ死体 3 個体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゲン）188 件、漣川郡（ヨンチョンゲン）181 件、坡州市（パジュシ）88 件、鉄原郡（チョルウォンゲン）23 件、楊口郡（ヤングン）2 件、高城郡（コソングン）1 件、合計 483 件のイノシシ ASF 陽性事例となった。

○野生イノシシ ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体は処理された。

□国立環境科学院は「今回確診なったイノシシは、全て 2 次フェンスの中で発見された。既存感染個体発見地域と 300m～900m 近隣しており、この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、徹底的に搜索している」と明らかにした。

以上